

＜今日の説教のポイント ルカによる福音書 23章 32～43節＞

## 1 先週：旧約聖書から — この世界を造られた神様を知る恵み！

先週は、旧約聖書の創世記を通して、この世界も私たちの人生も神様が造られたのであり、よって、たまたま生じた意味無く空しいものではないということを知られました。この創造主なる神様を思いながら生きるか、思わないで自分一人で生きるかの違いは大きいです。しかし、これだけではまだ、「どうして創造主なる神様をそんなに強く信じて生きられるのか分からない」と思うのが普通です。その答えが新約聖書から与えられるのです。

## 2 今日：新約聖書から — 信じて生きるに値する神様を知る恵み！

新約聖書は、「私たちがこの神様を思って生きる者となるために、神様はイエス・キリストをお与え下さった」と語りかけています。それが神様が取られた方法なのです！ 神様がイエス様を与えて下さったということは、「このイエスが語ることに耳を傾けよ、このイエスが為すことを見つめよ、そうしたら必ず私を信じられるように私が導くから」、と神様が言って下さっているということです。今日は聖書をあまり読んだことのない方を覚える中での礼拝ですから、以上のことを思いながら、新約聖書の中から3つの箇所を紹介します。

①「いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである」(ヨハネ福音書 1:18)

福音書記者ヨハネはイエス様のことをこう説明しています。だから新約聖書に記し残されたイエス様を見つめるのです。

②「レビが収税所に座っているのを見かけて、「私に従いなさいと言われた。彼は立ち上がってイエスに従った」(マルコ福音書 2:14)

周囲の人々から理解されず白い目で見られていたレビ。その彼に「私と共に生きよう」と語り掛けてくれたイエス様を大事な方と理解して従ったのです。そしてその選択は間違っていなかったのです。

③「その時、イエスは言われた。『父よ、彼らをお赦し下さい。自分が何をしているのか知らないのです』」(ルカ福音書 23:34)

自分を十字架にかけた人々のことの赦しを父なる神様に祈るイエス様です。ここにイエス様を通してご自身を示された創造主なる神様を信じていい一番深い理由が示されているのです！